

環境省「潮流発電技術実用化推進事業」

日本初！大型潮流発電機の実証を行います

環境省の事業として、平成28年度から、九電みらいエナジー株式会社と共同実施者の長崎海洋産業クラスター形成推進協議会が、奈留瀬戸で大型の潮流発電機を用いた実証事業に取り組んでいます。地域の皆様のご理解とご協力のおかげで、初冬には発電機が五島市(奈留瀬戸)に到着し、実証試験を開始します。

■事業の趣旨

海洋エネルギー発電の実用化は、海洋資源に恵まれた日本において、再生可能エネルギーの導入を推進し、地球温暖化対策を強化していくために重要な取り組みです。特に、海洋エネルギー発電の中でも、早期の実用化が期待される潮流発電について、日本の海域に適した技術及びシステムを確立することが重要と考えられています。

よって、本事業では日本の海域に適し、普及可能性が高く、かつ環境影響も小さい潮流発電の開発及び実証を行い、再生可能エネルギーの導入量の拡大とCO₂の削減をさらに進めることを目指します。

■発電機の概要

世界初の大規模商用潮流発電事業「MeyGen」を英国北部(ペントランド海峡)で実施している、SIMEC Atlantis Energy(サイメック・アトランティス・エナジー)社の発電機を採用し、出力500kW規模の潮流発電を実施します。



出力：500kW
高さ：約23m
重さ：約1,000t

〈海底設置型〉

©SIMEC Atlantis Energy

■実証期間

令和2年12月～令和3年2月(予定)

■実証試験場所



※発電機は奈留町漁業協同組合の共同漁業権の海域に設置します。

なるミライ



なるくらげ

発電機の名前が
決まりました！

この事業が地域の皆さんから愛されるよう、奈留町の小中高等学校の生徒の皆さんから発電機の名前を募集しました。素敵なお名前をたくさんご応募いただき、ありがとうございました。

選考の結果、奈留中学校3年「門脇 優」さんがつけてくれた「なるミライ」を採用。門脇さんの「自然のエネルギーを使用した発電で奈留が今よりもっとすばらしく暮らしやすい未来になってほしい」という思いが込められています。

また、奈留高等学校3年の6名の皆さん(井上 未来さん、小池明日香さん、城山望愛海さん、田原 瑛さん、松本佳保里さん、三宅翔子さん)がつけてくれた「なるくらげ」をキャラクター名に採用しました。

閩再生可能エネルギー推進室 ☎88-9503